

■ 2) 説明 5 点

▼行事名

子どものまち「ピンポン横丁」

▼団体名

特定非営利活動法人こどもNPO

▼開催開始年、主な開催期間（例：2005年より3月の春休みの土日？日間 など）

2003年12月に開始、2005年からは春休みに3日～4日開催

▼参加人数（ユニーク数、延べ数、大人のユニーク数）

子ども30～80人／1日 延べ200人 大人10～20人／1日

▼特徴（開催場所、主催者、他の「子どものまち」と比べて）

ピンポン横丁は、こどもNPOが以前卓球場と自宅が一緒になった民家を借りてオープンしているピンポンハウスで開催しています。家の中ということもあり日に80人も参加するとすごい状態です。規模は小さいけれど子どもスタッフはすべてを見ながら、その日のまちをどうするのか、明日はどうするのかを考えます。また、ピンポン横丁にかかる運営費はすべて参加費でまかなうことになっていて、そのために予算をたてることもおとなと一緒に考えるというのが大きな特徴かと思います。その他、規模が小さいので、その日参加した子ども一人ひとりがどう変化していくのがよくわかるということも特徴だと思います。

▼準備（体制、期間）

2006年度は、2006年3月に開催した後、子どもグループMFP（ミックスフルーポンズ）が誕生し、MFPを中心に夏祭やクリスマス会などの事業を企画開催しながら、2007年1月からピンポン横丁の子ども会議を月2～3回もちました。日によって5～10人が参加し大人は2人が担当しました。まちの仕組みからチラシ、細かい物品まですべて子どもが考え、予算も大人と一緒に考えながら準備しました。今年はまちの形もそれらしくしたいという希望で開催3日前よりダンボールで店を作るなどすべてを入れると開催期間は1週間になりました。